

事務事業評価シート

事業種別	継続	補助	事業類型	ソフト事業	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	-------	-----------

事業名	188	消費者行政事務経費	区分	コード	名称
基本施策	13	環境にも家計にもやさしい消費生活を普及させる	会計	01	一般会計
施策	1	情報および学習機会の提供	款	02	総務費
基本計画該当頁	89		項	01	総務管理費
行革大綱の重点事項番号	担当部課	コード	目	21	諸費
		702000	細目	104	消費者行政事務経費
			細々目	01	消費者行政事務経費
			評価者氏名	福岡 兵悟	連絡先
					47 - 1163 (内線) 210

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	市民 (対象件数)	消費知識の普及啓発、情報提供により悪徳商法や消費トラブルを未然に防ぐことができる。
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
本年度事業内容	行政無線による情報提供、啓発活動を随時実施。 地区委員さんを通じて、啓発用パンフレットを配布(組回覧)。	状況変化等

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	人 千円
委託先	
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
啓発用パンフレット配布(組回覧)	部数	目標 197 実績 197	目標 197 実績 197	197	197
行政無線による情報提供・啓発	回	目標 20 実績 10	目標 20 実績 20	20	20
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
啓発用パンフレットの配布(組回覧)	配布回数。	回	目標 2 実績 2	目標 2 実績 2	2	2
			目標	目標		
			実績	実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	悪徳商法や消費トラブルの未然防止のため、市民への消費知識普及と高揚のため啓発活動が必要である。
有効性	3	社会福祉協議会との連携強化を図り、消費者相談業務等(本庁)の充実を図る必要がある。
達成度	3	啓発活動はおおむね計画どおり達成できた。
効率性	4	本庁予算に統一することによりコスト削減の余地がある。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	社会福祉協議会との連携強化と消費者相談に対応できる職員の知識と能力を向上させる研修等が必要である。

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額(千円)									
委託	工事	消耗品費		8									
		事業費計(A)		8									
進捗率(%)													
事業投入人員		人件費(B)	0.1	人 720									
フルコスト(A)+(B)				728			728			728			728

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費				
Aの財源内訳	国庫支出金	8		8	8
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
	一般財源	8		8	8
計	8		8	8	8
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				